

編集顧問

生田 房弘	臺 弘
大友 英一	金澤 一郎
酒田 英夫	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	中里 洋一
彦坂 興秀	平山 恵造
藤澤浩四郎	真柳 佳昭
萬年 甫	水野 美邦
柳澤 信夫	

編集委員

岩田 誠 (編集主幹)	
石塚 典生	糸山 泰人
内山真一郎	梶 龍兒
河村 満	高坂 新一
作田 学	辻 省次
寺本 明	中込 忠好
中野 今治	水澤 英洋

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
神田 隆	木村 和美
久保 義弘	栗栖 薫
桑原 聡	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

医師国家試験の時期になった。この数カ月学生の顔つきが引き締まり、卒業間近になってやっと医学生らしい雰囲気が出てきたといえそうである。筆者の大学では、6年生ははじめの2, 3カ月こそ臨床実習が行われるが、その後は4回の総合試験があるだけで、事実上国試対策の自主学習期間となっている。本来、4年生の終わりにCBT (computer based testing) を合格することで机上学問の整理が終わり、5年生と6年生は臨床実習 (bed side learning : BSL) の期間のはずである。しかし、この6年生の医学教育を骨抜きにしているのが、国家試験の存在である。確かに、国家試験は筆者らが受験した頃と比べると、問題の質はるかに向上し、真剣な吟味がなされている。また臨床実地的な内容も巧みに織り交ぜてある。しかし、所詮はペーパーテストであり、いわゆる“お勉強”の相対的な量が問われるのである。すなわち、全国の同学年者の中で下位の1割に入らないようにしなければならないわけで、受験勉強に励むのが当然である。その結果、医学部における臨床実習は実質的に1年強ということになり、とても実地能力は身につかない。そのため評判の悪い卒後臨床研修2年間が必修化されているわけである。既に多くの医学教育者が主張し始めているが、国家試験のあり方を大きく変えなければならない。医学生が安心して臨床実習に取り組めるようにするためには、その実習の成果を評価する試験でなければならない。ペーパーテストは臨床実地に関するものだけに量を減らして、実技試験を主体にする必要がある。日常的な適性や臨床能力は、大学における成績評価 (内申書) を尊重してもらわねばならない。その場合、クオリティコントロールのためにも各大学における学生評価方法や基準に関する調査・指導などが必要となる。国家試験が変われば、卒前医学教育はるかに向上すると思われる。

さて、本号では、特集として最近話題の「サイバーナイフ治療」を取り上げた。ガンマナイフについてはかなり世間の認知を得てきていると思われるが、サイバーナイフとは何か？ ガンマナイフとどう違うのか？ などはまだまだ知られていない。本特集の4本の論文をお読みいただくとこれらの疑問が氷解するものと思われる。さらに、本号ではニューロサイエンスのさまざまな分野から4本の総説、および原著、症例報告、NeuroCPC各1本をお寄せいただいた。充実した内容の原稿を執筆いただいた著者の方々に感謝を申し上げるとともに、本号が多くの読者にとって意義深く読み応えのあるものであることを信じている。

(寺本 明)

BRAIN and NERVE

(第63巻 第3号)

2011年3月1日 (毎月1回1日発行)

定価 2,730 円 [本体 2,600 + 税 5 % (配送料実費)]

2011年 年間購読料 (税込み、配送料弊社負担)

冊子のみ 35,460 円、冊子 + 電子版 46,100 円、電子版 / 個人 35,460 円、

電子版 / 共有 40,780 円

販売部直通電話 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (小藤・多淵・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 ㈱アイワード (011) 241-9341

広告申込所 ㈱ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は㈱医学書院が保有します。
- ・JCOPY <㈱出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。